

舌遊びに注意！？牛の行動から分かること

■ はじめに

細かいことをあまり気にしていないように見える牛たちですが、大きな見た目に反して、実はとっても繊細な生き物です。今回は、生産性に影響するストレスと代表的なストレス行動である“舌遊び”について考えてみましょう。

■ 牛にストレスがかかるとどうなるの？

牛にストレスがかかると、ストレス物質が分泌され、妊娠牛であれば母牛だけではなく胎仔の免疫力が低下し、虚弱子牛の原因になります。また、流産や早産の発生リスクが高まる、発情行動や受胎など繁殖成績に影響を及ぼす可能性があります。そのため、牛にストレスをかけないことが非常に重要です。

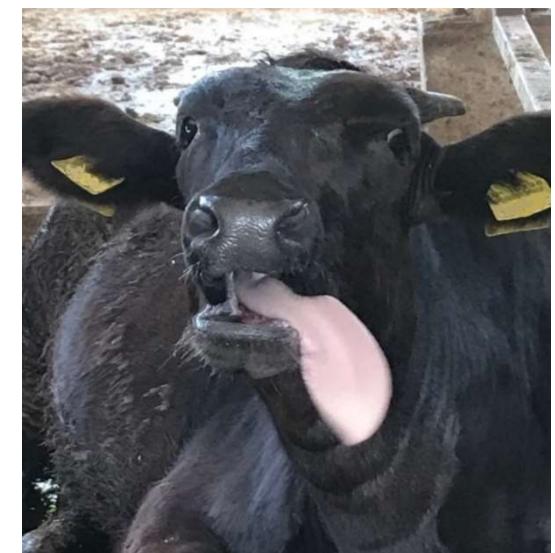


写真 舌遊びをする牛

■ ストレス行動について

牛は、欲求が満たせず飼養管理上で何らかのストレスを感じると、普段は見られない行動（ストレス行動）が現れます。例えば、エサを食べて休息しているはずの牛が立ったままなのも、牛床環境が悪い、満足にエサを食べられないなど、何らかのストレスを抱えているためかもしれません。また、今の時期であれば、暑熱ストレスにより肩で息をするような牛や立っている牛、サシバエによる吸血ストレスで尻尾を頻繁に振る牛などが見られると思います。

このように、牛のストレス行動は様々ですが、代表的な行動として“舌遊び”を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。舌を口の外に長く出して左右に動かしたり、舌先を丸めたりする動作を持続的に行います（写真）。人間がイライラを感じたときに行う貧乏ゆすりのようなものです。また、舌遊びに連鎖して、餌槽や、柵などをなめたりかじったりする行動も発現します。これらの行動は「咀嚼する欲求」が抑制されることに起因し、その原因是日々の飼養管理に潜んでいることがあります（図）。

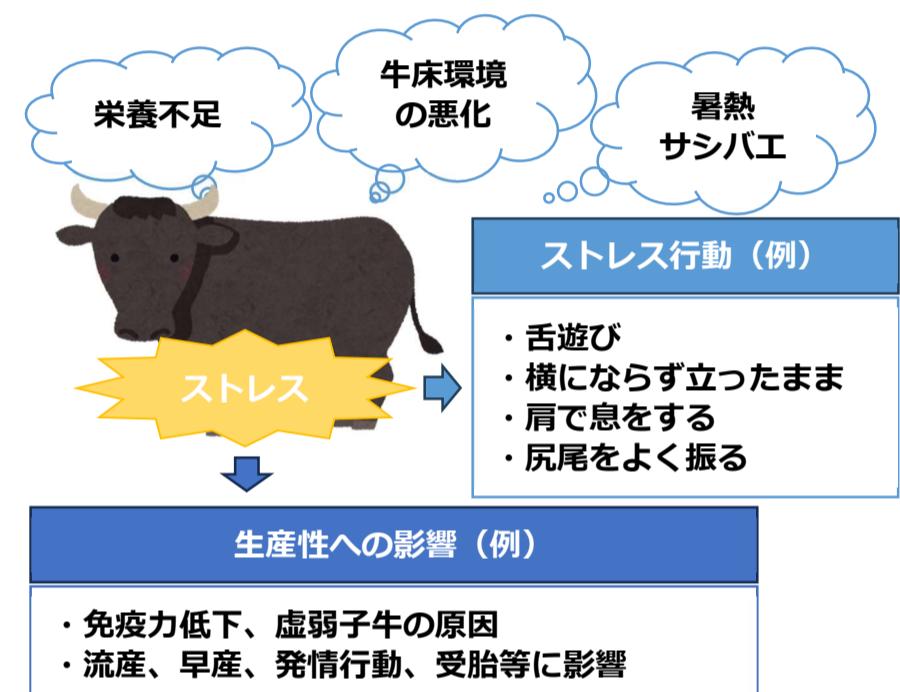


図 牛に起こるストレスの影響

■ 舌遊びをしていたら確認すること

① 飼料給与量

牛が舌遊びをしていたら、粗飼料の給与量を確認しましょう。粗飼料が不足すると咀嚼回数が減少し、咀嚼する欲求を解消するために舌遊びをすることがあります。頻繁に舌遊びをする牛が見られたら、少し粗飼料を追加給与し、勢いよく食べるようであれば、牛の体型もみながら給与量を増やすことを検討しましょう。実際に、給与量、給回数を見直すことで母牛の舌遊びの回数が改善した事例もあります。特に妊娠牛が頻繁に舌遊びをしていないか、粗飼料は十分か注意しましょう。また、6ヶ月齢以降の子牛も、粗飼料を十分に給与して腹をつくる時期なので、給与量が足りていても舌遊びをすることがあります。牛の行動を観察して調整しましょう。

② 粗飼料の長さ

十分に粗飼料を給与している牛が頻繁に舌遊びをしている場合、粗飼料の長さが短すぎるのかもしれません。粗飼料が短すぎると反芻回数が減少し、舌遊びをすることがあります。また、反芻回数の減少に伴い「ルーメン内の環境を整える唾液の分泌量が減少⇒ルーメン発酵に悪影響⇒消化率の低下」にもつながります。粗飼料の長さは、最低3～5cmは必要と言われていますが、粗飼料の粗剛性で変わります。牛の行動を観察して調整しましょう。

牛が舌遊び（ストレス行動）をしていたら飼養管理を見直そう！

□ 十分な量の粗飼料を給与できていますか？

→追加給与してすぐ食いつくようなら、給与メニューを見直しましょう

□ 粗飼料の長さが短すぎるかも？

→粗飼料のサイズを調整しましょう